



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月25日

上場会社名 M-エイトレッド

上場取引所 東

コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲瀬 敬一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO

(氏名) 佐藤 淳

TEL 03-3486-6312

四半期報告書提出予定日 平成30年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家様向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	781	12.9	209	5.3	209	10.9	136	9.8
29年3月期第3四半期	692	—	198	—	188	—	124	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭	円銭	円銭	円銭
30年3月期第3四半期	20.61	19.95		
29年3月期第3四半期	20.68	19.83		

(注)

1 当社は、平成28年3月期第3四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2 当社は、平成29年12月17日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
30年3月期第3四半期	1,857	1,351	1,351	1,290	72.8	200.21
29年3月期	1,822	1,290	1,290	1,290	70.8	195.53

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,351百万円 29年3月期 1,290百万円

(注) 当社は、平成29年12月17日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	—	0.00	—	28.47	28.47
30年3月期	—	15.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.17	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年12月17日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成29年3月期及び平成30年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。平成30年3月期の期末配当につきましては、株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計額は、単純に合算できないため「—」と記載しております。

### 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,150	19.6	336	16.5	336	20.6	221	16.0	33.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年12月17日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	6,750,600 株	29年3月期	6,600,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	— 株	29年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,633,007 株	29年3月期3Q	6,021,818 株

(注) 当社は、平成29年12月17日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 5
第3四半期累計期間	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(セグメント情報等)	P. 6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州、中近東及び東アジア地域等での情勢不安に起因する地政学リスクの高まりを受けて、世界経済全体としては不透明な状況が継続しているものの、企業収益の改善を背景に、雇用情勢や個人所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いております。

当社が属するIT業界は、クラウドサービス市場の拡大を背景として、クラウドサービスの利用拡大が顕著となっております。当社製品・サービスを展開するワークフローソフトウェア市場につきましても、クラウドサービス及びワークフローソフトウェアの需要拡大を背景に堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催及び、市場優位性を確保するためのワークフローソフトウェアの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は7億81百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業利益は2億9百万円（同5.3%増）、経常利益は2億9百万円（同10.9%増）、四半期純利益は1億36百万円（同9.8%増）となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

#### (パッケージソフト)

パッケージソフトは、全国主要都市でのセミナーの実施等により、導入企業数が順調に推移しました。X-pointにおいて、前年同期のVer1.8のサポート終了に伴うVer2.0への移行案件の反動減の影響がありました。その結果、当第3四半期累計期間のフロー売上高は2億83百万円（同4.7%減）、ストック売上高は3億20百万円（同15.0%増）となり、パッケージソフト全体の売上高は、6億4百万円（同4.8%増）となりました。

#### (クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長を背景として、人員を増強する等の販売体制を強化したことにより、新規導入企業数が順調に推移しました。その結果、当第3四半期累計期間のフロー売上高は23百万円（同48.7%増）、ストック売上高は1億54百万円（同53.4%増）となり、クラウドサービス全体の売上高は、1億77百万円（同52.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は18億57百万円となり、前事業年度末に比べ35百万円の増加となりました。これは、主に売掛金が44百万円減少したものの、現金及び預金が73百万円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は5億5百万円となり、前事業年度末に比べ25百万円の減少となりました。これは、主に前受収益が30百万円、退職給付引当金が11百万円増加したものの、未払法人税等が66百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は13億51百万円となり、前事業年度末に比べ61百万円の増加となりました。これは、主に新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金が21百万円、四半期純利益の計上等により利益剰余金が39百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,214,903	1,288,094
売掛金	154,129	109,263
電子記録債権	10,237	15,857
その他	30,853	19,304
流動資産合計	1,410,123	1,432,520
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	119,449	108,472
その他(純額)	10,193	8,062
有形固定資産合計	129,643	116,534
無形固定資産		
ソフトウェア	230,874	213,509
ソフトウェア仮勘定	—	34,842
無形固定資産合計	230,874	248,352
投資その他の資産	51,641	60,003
固定資産合計	412,159	424,890
資産合計	1,822,283	1,857,411
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,417	3,733
未払法人税等	88,872	22,112
前受収益	177,848	208,700
賞与引当金	37,415	16,373
その他	102,112	116,048
流動負債合計	409,666	366,967
固定負債		
退職給付引当金	46,485	58,260
役員退職慰労引当金	9,208	14,026
資産除去債務	66,442	66,600
固定負債合計	122,135	138,886
負債合計	531,802	505,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	265,600	276,142
資本剰余金	265,600	276,142
利益剰余金	759,281	799,273
株主資本合計	1,290,481	1,351,557
純資産合計	1,290,481	1,351,557
負債純資産合計	1,822,283	1,857,411

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	692,670	781,934
売上原価	177,952	202,207
売上総利益	514,718	579,727
販売費及び一般管理費	316,204	370,681
営業利益	198,513	209,045
営業外収益		
受取利息	3	5
その他	392	191
営業外収益合計	396	197
営業外費用		
上場関連費用	10,162	—
営業外費用合計	10,162	—
経常利益	188,747	209,242
税引前四半期純利益	188,747	209,242
法人税、住民税及び事業税	65,510	69,338
法人税等調整額	△1,311	3,178
法人税等合計	64,198	72,516
四半期純利益	124,548	136,726

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。